

東陽病院だより

10月から
皮膚科の診療が
毎週水曜日に

当病院では、月2回(水曜日)皮膚科を開設しており、千葉大学医学部皮膚科教授岡本昭二医師が診療にあたっております。近年、皮膚科系の病気にかかる方が増加しており、地域の皆様方から診療回数の増加要望がありましたので、大学と交渉し

た結果、医師の派遣が決まり、今月から毎週水曜日開設することとなりました。

なお、岡本教授は従来どおり月2回、他の週については、千葉大学医学部皮膚科医師が診療にあたります。

◎受付時間 午後1時～3時



大木看護婦 前田外科医長

前田医師・大木看護婦 全国国保地域医療学会で研究発表

「くろうしよう、暖かい医療の流れのために」をメインテーマとした、全国国保地域医療学会が、9月5日、6日の2日間にわたり、千葉県文化会館を会場として開催されました。

この学会は、全国の国保病院の関係者が一堂に会し、地域医療実践のための研修、研究を目的とした学会であります。

本学会において、当病院の前

人間ドックについて

前月号東陽病院だよりの紙面で「人間ドック」のお知らせをしましたが、医療機関のはからいにより、今後1泊2日でも検査が受けられるようになりました。

検査項目は、どちらも同じですが、自己負担額は次のとおりです。

1泊2日：八千五百五十円
2泊3日：九千円

なお、通院による検査はできなくなりましたので、併せてお知らせします。

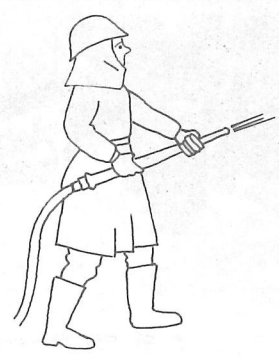
※申し込み、問い合わせは住民課国保係(内線41)へ。

田外科医長が外科治療における「中心静脈栄養とロングチューブ留置併用」の研究発表、大木主任看護婦が、胆石症の患者の看護をおとした研究発表を行いました。

また、前田外科医長については、昨年の千葉県国保直診病院医学会においても、「乳がん」についての研究発表を行っており、非常に研究熱心で経験豊富な医師であり、今後益々の活躍が期待されています。

60年度行政組合の決算 歳出は19億9623万1千円

一般会計の決算状況は、歳入21億2,674万4千円、歳出19億9,623万1千円で差し引き1億3,051万3千円となり、翌年度に繰り越されました。収支額の前年度比較では、歳入0.28パーセントの減、歳出1.75パーセントの伸びとなっています。



歳出		歳入	
消防費	7億7714万5千円	分担金・負担金	10億5312万1千円
清掃費	7億206万円	使用料・手数料	6億1395万9千円
総務費	1億9595万7千円	諸収入	1億7145万6千円
民生費	1億2667万円	繰越金	1億7084万4千円
公債費	1億1193万7千円	財産収入	4076万3千円
保健衛生費	7093万2千円	繰入金	3900万円
教育費	1153万円	組合債	2800万円
		国・県支出金	720万1千円
		その他	240万円